

コマーシャルメッセージ

平成25年8月版

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思いをします。

5月の住宅着工は、持ち家、貸家、分譲住宅ともに増加したため、全体で増加となりました。

5月の新設着工戸数は79,751戸で、前年同月比14.5%の増加になりました。
9ヶ月連続の増加です。

季節調整済み年率換算値は1,027,000戸です。

持家は28,902戸で前年同月比13.5%増、9ヶ月連続の増加。

貸し家は26,614戸で11.6%増、3か月連続の増加。

分譲住宅は23,911戸で21.7%増、3か月ぶりの増加。

内、マンションは12,893戸で、33.1%増、3か月ぶりの増加。

一戸建て住宅は10,881戸で、10.1%増、9か月連続の増加。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比13.6%増、中部圏8.6%増、その他地域は11.5%増です。

近畿圏は、対前年同月比30.6%増です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀1.1%増、京都8.6%減、大阪72.1%増、兵庫2.0%減、奈良18.0%増、和歌山38.2%増でした。

東京は対前年同月比5.5%増、愛知は2.1%減です。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO2吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることが、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

木材、合板ともに、依然として価格上昇局面が続いていますが、品薄感は和らいでいます。

合板の上り幅は鈍化傾向ですが、木材は外国産材、特に米松を中心に上昇幅が大きくなっています。

先行きも不透明な状況です。



NO. 1 仮設材について

矢板価格は再び上昇しました。この傾向は来月も続きそうです。
横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは豊富に在庫しています。
栈木は型枠用と仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。
リン木は桧・杉材や米楯材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。
養生ベニヤ12mmをご用意しています(12mm x 900mm x 1,800mm)。
その他、養生ベニヤ用として、2.5mm・5.5mm・9mmの3尺x6尺を在庫しています。
両面フェースはラワンです。芯材はポプラです。
NONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

引き続き、米材関係は梁桁材を中心に大幅な価格上昇です。
しかし、7/19付けの日経新聞では北米産松丸太の7月積み価格が前月比1%安く、10か月ぶりに下落した模様です。

NO. 3 外国産構造材について

外国産材は樹種を問わず、値上げ幅が依然大きくなっています。
ホワイトウッド材も、価格は引き続き上昇傾向です。
赤松材も引き続き値上げです。
米松羽柄材も依然、価格上昇傾向です。
ポプラ材も単板不足から、値上げ傾向です。
赤松材での在庫もしていますが、寸三として**ポプラLVL材**を併用在庫しています。



NO. 4 国産構造材について

輸入材の価格上昇の影響が主な要因で需要が増えた国産原木価格が値上がりしています。
国産材製材工場も値上げを唱えています、まだ現状維持の状況です。
国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。
そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。
知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。
弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。
特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。
公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米楯無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

1等材と同じく、無節上小節材も価格上昇傾向です。

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

そのため樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が激減しています。

その結果、希少価値が高まり、価格に反映されています。

南洋材(ラワン・マガシロなど)も原木・製材品の入荷量が年々少なくなってきており、価格上昇はもとより供給面で不安感が増してきています。

そのため、よく似たメルサワに切り替わりつつあります。お見積もり・ご用命の折は、メルサワをお勧めします。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

ラワン合板は落ち着きを取り戻しています。

針葉樹合板は依然として値上がり傾向です。

せっこうボードも燃料輸送コストの関係から10月1日より値上げを打ち出しています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

これまで以上に販売強化に努めています。

シナベニヤも価格上昇です。

いよいよ床材など二次製品値上がりしだしました。



NO. 10 断熱材関係商品について

小ロット梱包のポリウール密度16K、在庫あります。M2数の少ないリフォーム工事に最適です。

グラスウール・ロックウールは価格維持ですが、スタイロフォームなど押出発泡ポリスチレン断熱材は値上がりです。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。

円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。

NO. 12 接着剤について

今のところ、大きな状況の変化はありません。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。

円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。

NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

基材の価格上昇を受けてそろそろ、値上げの動きがあると思われます。

☆ 電材品も扱っています。



☆ 木材利用ポイント制度 スタートしています。

新築やリフォームの時、木製品購入で使えます。

施工業者・供給業者ともに、事前登録制です。

せっかくの施策です。有効活用しましょう。

☆ “たろうの店 きごころ” オープンしています。

地域密着サービスサロンです。

気軽に立ち寄っていただける雰囲気大切にしています。



地産地消 — 地域材



大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。



－ 福祉

健康グッズ・福祉用具・介護用品を販売しています。

福祉・介護リフォームや新築の時など、是非、ご提案させていただきます。

個人的にご購入検討の時なども、是非、お声がけください。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者になりました。

介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



安らぎ － 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり － エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。

ご用命よろしくお願い申し上げます。



山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784